生活保護受給者等の就労支援

特定非営利活動法人ワーカーズコープ
静岡就労支援事業所　所長　永戸　亮

1. 就労支援の取組みから見えてきたこと
   - 仕組みづくり　　県庁・福祉事務所・ハローワークとの連携
   - 基本姿勢　　誰ひとり取り残さない覚悟
   - 対象者の現状　　挫折の連続や社会的偏見による孤立から関係性による変化
     ⇒　事務所への気軽な来所、人への信頼、自信の回復
   - 実績・数字の価値と数値で表せない伴走支援、意欲喚起の価値
   - ホームレス実態調査で見えたこと　　人間本来のつながりを求める心
   - ネットワークの構築　　ＮＰＯや市民組織、企業、施設の協力
   - 支援メニューの模索　　フォトサービス、スーツの貸与、自転車貸与、原付免許講習、ＰＣ講習、外国人支援等

2. 今後の課題と展望
   - 支援メニューの多様化　　就労体験、ボランティア体験、居場所づくり、セミナー、技能講習、求職者支援訓練
   - 就労の場の創出　　食農の取組み、様々な人が働ける場
   - 支援対象者が自立から支える側にまわる仕組みづくり
   - 地域で支援するネットワークづくり　　社会的排除に抗する
   - 被災者生活再建の取組み　　地域を変えるよそ者の力をコーディネート
   - 自らの取組みの価値を発信する力　　報道、ＨＰ、地域懇談会

3. 全国的な協同労働の取組み
   - 協同労働の価値　　労働者の主体性と利用者・地域・仲間との協同
   - 鹿児島姶良事業所　　若者が働く清掃現場
   - 犬山焼酎プロジェクト　～　ＦＥＣの取組み
   - 埼玉アスポート　　多様な技能講習、協力企業のネットワーク、対象者と仕事おこし　～　移動コンビニ
   - 東北復興本部　　求職者支援訓練から仕事おこし、就労支援の依頼